授業科目　社会福祉援助技術現場実習Ⅱ

【担当教員名】			対象学年	2	対象学科	社会
伊東正裕	梶原洋生	西村順子	開講時期	前期	必修・選択	必修
（　　）	（　　）	（　　）	単位数	3	時間数	９０（学内指導３０・現場実習６０）

<概要>

３年次の本実習「社会福祉援助技術現場実習Ⅲ」に備え、社会福祉施設での現場実践を短期間体験し、施設における日常業務の展開、職員の働き、利用者状況等についての基礎的な理解を図る。

4～７月は学内での事前学習を行い、実習目的と現場配属実習に臨む上での基本的な留意事項等の理解と実習先の施設・分野に関する事前学習を全体講義中心で行う。８～11月の期間に各自が５日間程度の現場配属実習を新潟県内の福祉施設で行う。

<学習目標>

1　実習目的を明確化する
2　実習に際しての基本的な留意事項を理解する
3　各実習施設の分野に関する予備知識を修得する
4　各配属先での実習目的の達成に努める
　①社会福祉施設における日常業務の流れと施設の機能について理解する
　②社会福祉施設における利用者について具体的に理解する
　③社会福祉施設における職員の構成と主な役割を具体的に理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	全体学習・グループ　オリエンテーション後配属先グループの担当教員との顔合わせ		講義中心
2	全体学習　身体障害者福祉施設の目的・対象者・機能及び対象者支援の留意点		
3	全体学習　児童福祉施設施設の目的・対象者・機能及び対象者支援の留意点		
4	全体学習　知的障害者福祉施設の目的・対象者・機能及び対象者支援の留意点		※「個人票」下書き提出
5	全体学習　高齢者福祉施設の目的・対象者・機能及び対象者支援の留意点		
6	全体学習　総括レポート作成（第２～５回分の授業のまとめ）		
7	グループ学習　事前学習の点検（「実習の手引き」読み合わせ等）		※個人票用「写真」提出
8	全体学習　実習経験者から学ぶ		
9	全体学習　現場実習施設からの助言		
10	グループ学習　「個人票」の清書・点検・提出、「事前学習欄」の清書・点検		※「個人票」清書提出
11	全体学習　「倫理綱領」の理解、実習ノートの記載		
12	全体学習　接遇マナーの基本基本		
13	グループ学習　実習ノートの点検、オリテのアポイント・巡回指導予定の確認		
14	全体学習　最終確認、腸内細菌検査・実習終了報告書の説明		
	（上記の日程は講師等の都合により変更することがある）		
	８～11月　現場配属実習　５日間程度、各配属先にて現場実習を行う ・配属先、実習日程は学生によって異なり,別途通知される ・実習期間中に教員が各施設を訪問し、巡回指導が行われる ・実習終了後、「実習ノート」を施設に提出し、大学に報告する ・実習後の事後指導と実習の総括については後期の「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の授業内で行われる		施設現場で実習

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書	
参考書	「社会福祉実習サブノート～初めて実習生となるあなたへ～」社会福祉実習教育研究会編集、中央法規 2000円＋消費税
その他の資料	「現場実習の手引き」ほか、適宜プリントを配布

【評価方法】

学内での事前学習への出席状況、実習先からの評価結果、「実習ノート」の記載内容等から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

・事前学習は実習に向けての重要な説明が含まれているため、必ず出席すること。
・現場実習は施設職員と利用者の方々の理解と協力によって行われるものであることに十分留意し、誠実な態度で臨むこと。各種提出物や報告は期限を守り確実に行うこと。